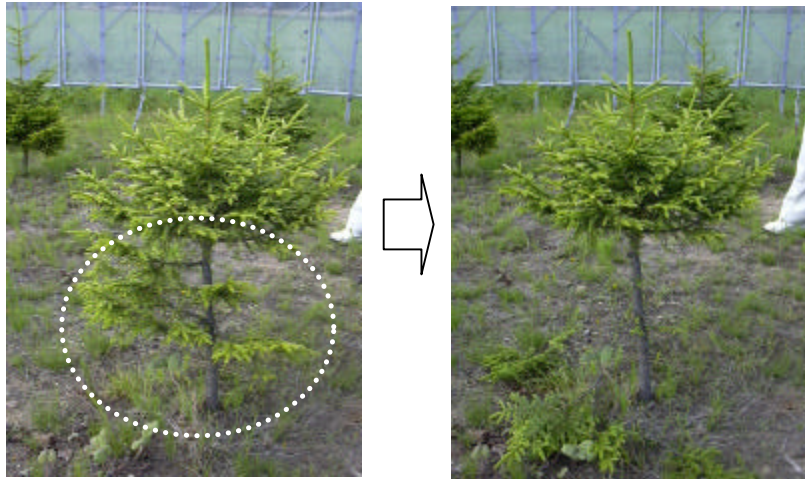


3-1-4.平坦部植栽木における裾枝打ち

- ・ 平坦部に植栽された樹木は、積雪の沈降圧を受けて幹曲がり等を防止するため、裾枝打ちを徹底する
- ・ 下枝があると積雪の沈降圧を受けて、幹曲がり、幹折れ、枝抜けが生じ、樹木が健全に成長できなくなる。これらの対策は裾枝打ちで対応できる
- ・ 幹曲がりは雪害が生じやすく、成長量が少なくなるため、この発生を避ける

写真：平坦部植栽木の裾枝打ちの事例
樹種はアカエゾマツ
左：剪定前、右：剪定後
破線丸印が枝打ち箇所



写真：平坦部植栽木の幹曲がりの事例
樹種：シラカンバ

